

参考資料

対象物品について

令和元年度の事業募集に当たって文部科学省から指摘を受けた事項は次のとおりですの
で、事業の検討に当たって参考にしてください。

1 「1組につき10万円以上」でいう「1組」の考え方

カタログやパンフレット等で広く一般的にセットで販売されているものを「1組」と
いいます。関連する物品であっても、カタログ上別売りしているものは、「1組」とは認
められません。

例) 椅子をセットで購入する場合

カタログ上で椅子20脚セットとして10万円で販売されている

→ 1組と認められ、「1組につき10万円以上」を満たすため、対象となる。

カタログ上で椅子1脚5,000円で販売されているものを20脚購入する

→ 1組と認められず、「1個につき10万円以上」を満たさないため、対象外と
なる。

2 遊具に設置する安全マット

遊具に設置する安全マット（落下や転倒時の衝撃を軽減するなど、子どもの安全を守
る用途のもの）は、それ単体では遊具や運動用具とは認められないため、対象外とな
ります。ただし、最初から遊具に付属しているものはこの限りではありません。

一方で、マット運動等の用途に使用するなど、それ自体が運動用具と認められる場合
には、対象となります。

3 その他対象外と判断された設備

- ・ 園庭に設置する入場門（運動会などに使用するもの）
- ・ ひな人形
- ・ 棚、ワゴン（図画工作の道具、絵本、玩具などを収納するもの）